

論文問題

令和3年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は1題です。
3. 解答時間は1時間30分です。
4. 論文字数は、1,000字以上1,500字程度です。字数は、文字が記載されている行ごとに20字として数えます。ただし、(1)又は(2)のみが記載されている行は、字数に含みません。なお、論文字数が1,000字に満たない場合は採点されないことがあります。
5. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
6. 下書き等は、この冊子の余白を利用してください。
7. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。

問 題

- (1) 別添の資料から、ウィズコロナ時代において東京の観光振興を図るために、あなたが重要であると考えer課題を200字程度で簡潔に述べよ。
 - (2) (1)で述べた課題に対して、都を含む行政は具体的にどのような取組を進めるべきか、都の現行の施策に言及した上で、あなたの考えを述べよ。
- なお、解答に当たっては、解答用紙に(1)、(2)を明記すること。

資料 1

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

資料：IATA「Outlook for air travel in the next 5 years」、
「Five years to return to the pre-pandemic level of passenger demand」を基に作成

出典：「『未来の東京』を見据えた都政の新たな展開について～構造改革を梃子として～」
(令和2年8月)より作成

資料 2

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：株式会社 J T B 及び株式会社 J T B 総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化および旅行再開に向けての意識調査（2020）」より作成

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：公益財団法人 日本交通公社

「新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その4）」（令和2年7月）より作成

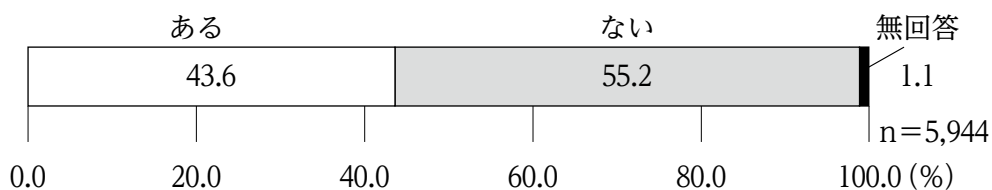
資料3

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

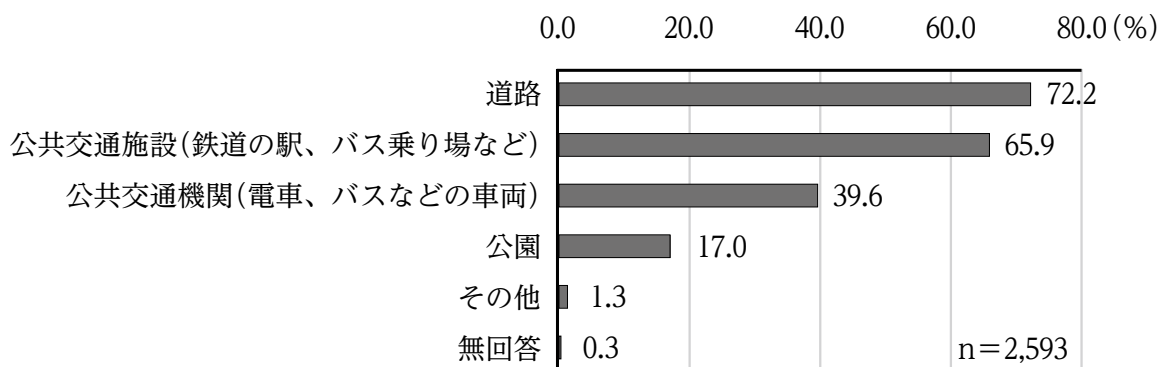
出典：公益財団法人 日本交通公社「旅行年報2020」より作成

資料4

日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無（2016年）



日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所（複数回答）



調査対象：都内に居住する調査基準日（平成28年10月12日）現在満20歳以上の世帯員

出典：「平成28年度東京都福祉保健基礎調査『都民の生活実態と意識』」より作成